

2023年12月16日

マンスリーレポートNo.15

プラネタリウム 100周年記念事業
～地上の星空 ドイツに生まれて1世紀～

みなさま、こんにちは。

コスモプラネタリウム渋谷の永田です。

今年もあとわずか。みなさまにとって今年はどうな年でしたか？

プラネタリウム 100周年という歴史的な節目の年にみなさまと同じ星空の下で過ごせることをとても嬉しく思います。

来年もみなさまにとって良い年で、素敵な星空に出会えますように。

永田美絵

今回のもくじです。

- 実行委員長より（井上毅）
- 小惑星バウアスフェルダを観測しませんか？（三島和久・塚田健）
- プラネタリウムこどこ？クイズ（三島和久・塚田健）

■実行委員長より（井上毅）

プラネタリウム 100周年事業の推進にご尽力いただきましてありがとうございます。

プラネタリウム 100周年実行委員会では、10月21日の100周年記念イベントに続いて、はやぶさ2#ミッションチームとの共催イベントを12月3日に実施しました。この日は、はやぶさ2の打ち上げと地球スイングバイのダブル記念日です。全国のパブリックビューイング会場とのオンライン中継を交える講演会やトークショーを行いました！相模原市立博物館会場をはじめ、全国のパブリックビューイング会場、YouTubeのライブ配信にて多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

https://100.planetarium.jp/?page_id=2948

はやぶさ2#ミッションチームとのコラボレーションは今後も続けていきます。講師派遣については、プラネタリウム100周年期間内に実施できますので、どうぞ気軽にご相談ください。

このほか、来年度に向けて様々な連携企画も準備しています。また、JPA会員からの連携

企画提案も歓迎します。どうぞご相談ください。プラネタリウム 100 周年は 2025 年 5 月まで続きます。引き続きよろしく申し上げます。ではよいお年を。。

■小惑星バウアスフェルダを観測しませんか？（三島和久・塚田健）

近代的プラネタリウム誕生の立役者の一人がカール・ツァイス社の技術者、ウォルター・バウアスフェルド（Walther Bauersfeld）です。

実は、彼の名を冠した小惑星があります。

小惑星 1553 番バウアスフェルダ(1553 Bauersfelda)です。

しかも、この冬にちょうど衝となり、ふたご座で観測好機を迎えています（明るさはおよそ 15 等）。

そこで、当委員会では、プラネタリウムが誕生 100 周年のこの機会に、小惑星バウアスフェルダを撮影した画像・動画を幅広く募集しバウアスフェルドの功績を称えるキャンペーンを行うこととしました。

施設・個人ともに参加可能です。

軌道要素やファイディングチャートもサイトに準備しました。詳細は下記をご覧ください。

https://100.planetarium.jp/?page_id=3540

皆さんの参加をお待ちしています！

■プラネタリウムこどこ？クイズ

SNS でプラネタリウム 100 周年を盛り上げる一環として、#プラネタリウムこどこ？というハッシュタグをつけた、クイズを投稿するべく準備を進めています。つきましては、今後、施設の皆さんにメール等で写真提供 or こちらで撮影した画像の使用許諾のお願いをすることがあるかと思えます。

その際は、可能な範囲でご協力いただければ幸いです。

写真は施設の外観、投影機、そのクローズアップ、エントランス、展示室、などなどを想定しています。

よろしく申し上げます。